

議会だより

ながのはらまち

2016

OCTOBER

10

No. 109

9月定例会の内容をお伝えします。

写真：議会傍聴や懇談会に参加していただいた長野原高等学校の皆さん



目次

- CONTENTS -

〔9月定例会〕

人事案件や契約締結など
全議案を原案のとおり可決

2-3ページ

〔長野原町議会×長野原高等学校〕

懇談会を行いました

18-19ページ

〔平成27年度〕

一般会計決算を認定

6-7ページ

〔平成27年度〕

特別会計決算を認定

8-9ページ

請願・陳情の結果

12ページ

ここが知りたい一般質問

13-17ページ

9月定例会で全議案を可決・同意・認定

平成28年第3回長野原町議会定例会（9月定例会）が、9月6日（火）から同月21日（水）までの会期16日間で開催されました。

今回は財政健全化判断比率および資金不足比率の報告から始まり、人事案件6件や補正予算5件、工事契約1件、その他議案2件、決算認定10件等を採決し、原案のとおり可決（同意・認定）しました。

第3回長野原町議会（9月）定例会 9/6～9/21

人事案件、契約の締結など全議案を原案のとおり可決しました

▲9月6日（火）に開かれた定例会初日の様子。

教育・公平・人権擁護委員の選任を同意

9月6日（火）、定例会初日に長野原町教育委員会委員3名、長野原町等公平委員会委員1名、長野原町人権擁護委員2名の任期満了に伴い、再任含め委員の選任（推薦）が上程されました。各案件とも無記名投票により採決し、次の委員の選任（推薦）について全て同意しました。

※順不同・敬称略

【教育委員会委員】

- ①土屋 〇〇（再任）
- ②安原 〇〇（再任）
- ③中山 〇〇（再任）

【公平委員会委員】

- 富澤 〇〇（再任）

【人権擁護委員】

- ①篠原 〇〇（新任）
- ②小林 〇〇（新任）

応桑幼稚園改修工事の契約締結を可決

9月15日（水）定例会2日目に長野原町立応桑幼稚園改修工事請負契約締結の議案が上程されました。

これは応桑・北軽井沢地区に保育所機能を備えた認定こども園の新設を目的に、既存の応桑幼稚園を改修・増築する工事請負契約の締結を行うものです。

無記名投票の結果、有効投票数9票（投票総数9票）のうち賛成9票、反対0票で原案のとおり可決されました。

■質疑応答

問 黒岩議員 この契約における入札の経緯について教えてください。

長野原高等学校が議会を傍聴

長野原高校生徒会および1・2年生代表11名の皆さんが9月21日（水）に開かれた定例会3日目を傍聴しました。定例会終了後に行われた懇談会については18～19頁に掲載しています。

【教育委員】

教育委員会を教育長と共に組織する委員です。議会の同意を得て地方公共団体の長が任命します。定数は4名で、任期は4年です。

【公平委員】

地方公共団体の職員の給与や勤務時間、その他の勤務条件に関する要求を審査・判定し、必要な措置をとるなどの活動をする公平委員会の委員です。

す。議会の同意を得て地方公共団体の長が選任します。定数は3名で、任期は4年です。

【人権擁護委員】

国民の基本的人権を守るために活動する委員です。地方公共団体の長が議会の意見を聞いて推薦し、法務大臣から委嘱されます。任期は3年で、長野原町における定数は4名です。

契約の概要

契約の目的：長野原町立応桑幼稚園改修工事（認定こども園）
契約の相手方：株式会社 野口工務店
代表取締役 割田 伸男
契約金額：1億3,068万円
（うち取引に係る消費税および地方消費税の額968万円）



答 教育課長 入札については9月13日（火）に実施した。町内業者5社を指名し、1回目の入札で落札。その結果により、契約の相手方が株式会社野口工務店、契約金額が1億3068万円となった。



▲投票の様子 ▼応桑幼稚園



▲定例会3日目の様子。

浅間園事業・国民健康保険の4特別会計を補正

●平成28年度補正予算一覧表

会 計	補 正 額	補正後（歳入歳出）
一般会計	1億1,119万6千円の増	82億5,234万2千円
国民健康保険特別会計	1,648万円の増	9億3,842万9千円
介護保険特別会計	327万円の増	5億2,760万2千円
公共下水道事業特別会計	1,690万円の増	1億123万6千円
浅間園事業特別会計	321万1千円の増	4,861万7千円

9月6日（火）、定例会初日に平成28年度一般会計のほか4特別会計の補正予算案が上程され、9月15日（木）の定例会2日目に全員一致で可決となりました。

【一般会計】

歳入歳出にそれぞれ、1億1119万6千円を追加し、総額を82億5234万2千円とする補正です。

応桑・北軽井沢地区に子ども館を整備するための改修費用に伴う3120万円の追加補正や、群馬県に委託している林道川原畑線開設事業について事業の全体計画が定まったことから詳細設計

等の委託料2500万円の追加補正などが主な内容です。

【国民健康保険特別会計】

歳入歳出にそれぞれ、1648万円を追加し、総額を9億3842万9千円とする補正です。

システム改修の委託料や高額医療費共同事業拠出金の決定に伴う追加補正が主な内容です。

【介護保険特別会計】

歳入歳出にそれぞれ、327万円を追加し、総額を5億2760万2千円とする補正です。

平成27年度介護給付費

訴訟の提起を可決 （町道川原湯温泉幹線街路事業用地）

町道川原湯温泉幹線街路事業予定地である大字川原湯字上打越273番地について、共有者5名と任意で用地交渉を続けてきましたが、長野原町含む共有者間と協議が調いませんでした。

これに伴い、上記の共有物分割の訴えの提起が9月15日（木）の定例会2日目に上程され、原案のとおり可決しました。

【浅間園事業特別会計】

歳入歳出にそれぞれ321万1千円を追加し、総額を4861万7千円とする補正です。

浅間園事業会計廃止に伴う繰越金の発生による歳入への充当や、エレベーターの部品交換等に伴う費用の追加補正が主な内容です。

補正予算に関しての 質疑応答

【一般会計】

問 浅沼議員 歳出の林業費にある有害鳥獣対策事業へ180万の追加補正があり、猿捕獲用の檻を2基購入したなどの説明があった。今回は大きい檻の購入との

ことだが、持ち運びが大変だと思う。大量捕獲には必要なものだと思うが、この他に持ち運びがしやすいものは現状のもので間に合うのか。

答

産業課長 猿の捕獲についてはなかなか難しい部分があるため、今回は大型の檻2基

の購入をお願いしたところ。設置等に関しては地元や行政等に対応できると考えている。地中に少し埋めて設置するもので、上の部分にあり口をふさぐことにより逃げることができない仕組みとなっている。持ち運びがしやすいも

問

黒岩議員 歳入の補正に指定寄付金の2千万円の追加補正があるが、これはどのような性格の寄付金か。

答

総務課長 この寄付金については、群馬県町村会から少子化対策のため2千万円をいただくもの。こちらについては子ども館建設に充当する。

問

黒岩議員 歳出の消防費にある事業委託料が265万7千円の減額となっている。これについては自主避難計画策定のため、同計画策定が必要と思われる地区にお願いをしたところ了解が得られなかったとの説明があったが、どのようないきさつでこうなっ

答

総務課長 この自主避難計画は、前回羽根尾地区で行ったものと同様。今年度も1地区選定して計画を策定する予定であった。現在、土砂災害警戒区域に囲まれている、かつハザードマップが完成している2地区に呼びかけを行ったところ、2地区とも断られてしまい、今回については策定を見送りたい。来年度は早めの呼びかけを行っていく予定。

普通財産の譲渡を可決

国土交通省が施行する代替地造成工事区域内の普通財産を、国土交通省と締結した覚書に基づき譲渡することを全員一致で可決しました。

【譲渡の相手方】

国土交通省関東地方整備局
ハッ場ダム工事事務所長
矢崎 剛吉

【譲渡する普通財産】

- ①大字長野原字久々戸1340-8 公衆用道路 270㎡
- ②大字長野原字久々戸1346-17 公衆用道路 183㎡
- ③大字長野原字久々戸1347-8 公衆用道路 129㎡
- ④大字長野原字久々戸1354-6 公衆用道路 38㎡
- ⑤大字長野原字久々戸1357-10 公衆用道路 72㎡
- ⑥大字長野原字久々戸1343-8 水路 44㎡
- ⑦大字長野原字久々戸1345-5 水路 25㎡
- ⑧大字長野原字久々戸1346-18 水路 48㎡
- ⑨大字長野原字久々戸1347-9 水路 70㎡
- ⑩大字長野原字久々戸1354-7 水路 52㎡



▲羽根尾区で行われた自主避難訓練

平成27年度
一般会計決算
認定

平成27年度一般会計決算を認定

用語の説明

経常収支比率

経常的な一般財源がどの程度経常的な経費に充てられているかを示す指数。数値が高いほど財政が硬直化し、70%～80%程度が望ましいとされる。

平成27年度一般会計決算が9月定例会にて審議され、全員一致で認定しました。

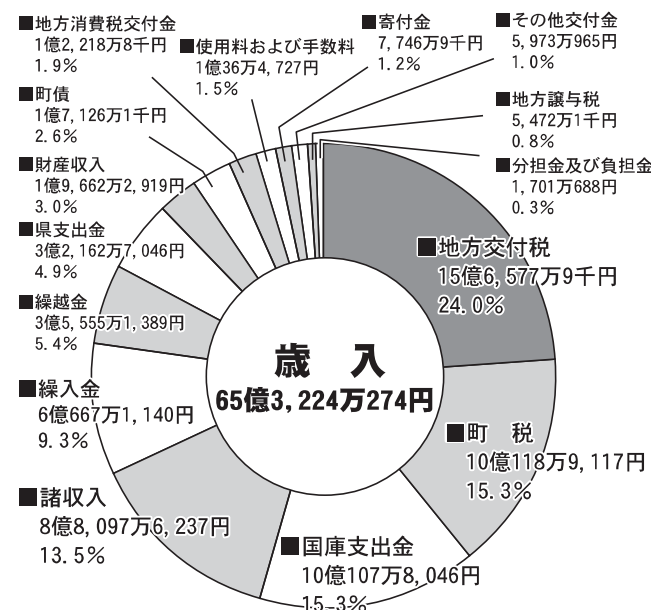
平成27年度一般会計の歳入決算額は65億3,224万2,742円、前年比100.6%（415.3万3,563円の増）、歳出決算額は59億9,616万5,554円、前年比97.7%（1億3,899万4,768円の減）、歳入歳出差引残額は5億3,607万9,200円で、翌年度に繰り越すべき財源は1億7,544万円となりました。



源を引いた実質収支額は3億5,853万9,720円の黒字、そこから前年度実質収支額を控除した単年度収支額は2億9,315万9,331円の黒字となりました。しかし、経常収支比率が89.5%と高く、財政の硬直化が見られます。引き続き経常経費の削減と歳入の確保に努力をしなければなりません。

歳入
総額

前年度より4,153万3,563円の増
65億3,224万274円



主な歳入

地方交付税

市町村が自主的に行政を執行できるよう、財政の均衡化を図るため交付されるもので15億6,577万9千円の収入がありました。

町税

10億118万9,117円の収入で前年対比が103.1%、徴収率は前年度より1.9%増の85.4%で収入未済額は1億5,098万5,388円でした。

国庫支出金

国からの補助金で10億107万8,046円の収入があり、前年対比100.6%でした。

諸収入

町税延滞金加算金や雑入等8億8,097万6,237円の収入があり、前年対比75.4%（2億8,752万2,594円の減）となりました。

主な歳出

土木費

主に道路や橋などの新設・改良などの費用15億7,136万6,350円の支出がありました。

民生費

社会福祉事務の執行に要した費用で7億3,601万9,483円の支出があり、前年度より6,221万5,402円の増額となりました。

衛生費

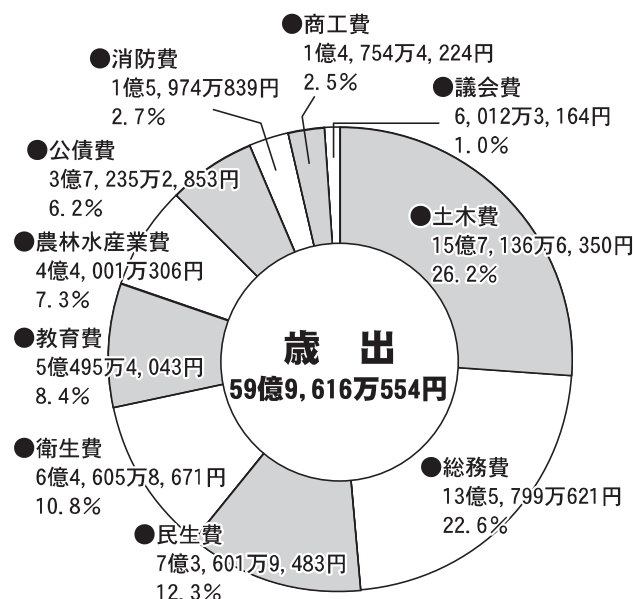
住民の保健衛生や疾病予防、地域の環境衛生等に関する費用6億4,605万8,671円の支出がありました。

教育費

教育委員会の運営等に要した経費で5億495万4,043円の支出があり、前年度より5,660万5,755円の減額となりました。

前年度より1億3,899万4,768円の増
59億9,616万554円

歳出
総額



歳入歳出科目説明

【歳入】財産収入

町が有する財産を賃貸したり、売却した際に生じる収入。

【歳入】その他交付金

利子割交付金、配当割交付金、株式等譲渡所得割交付金、ゴルフ場利用税交付金、自動車取得税交付金、地方特例交付金、交通安全対策特別交付金をまとめた収入。

【歳出】公債費

建設事業費等の財源として借入れた起債の元利償還金など。

平成27年度特別会計決算 9 会計を全員一致で認定しました

平成27年度特別会計決算9会計が9月定例会にて全員一致で認定されました。
今回認定された各特別会計は住民の健康管理、老人福祉の増進、地域医療の提供、水道の供給、下水道等の生活環境整備など住民生活の向上に直結した事業です。住民の負担軽減と健全財政維持のため9会計中8会計が一般会計から繰入を受けています。（8会計への繰入金総額は4億237万6275円）
今後も経費の削減に一層努力し、一般会計からの繰入金への負担軽減を図り、独立採算性の確保に努力する必要があります。なお、各会計の特記事項は次のとおりです。（順不同）

公共下水道事業特別会計

歳入総額	歳出総額
1億2,962万8,814円	9,368万1,865円

平成27年度末の加入率は52.5%

歳入決算額は1億2,962万8,814円で前年度より1億5,958万4,245円の減額、歳出決算額は9,368万1,865円で前年度より1億7,227万3,080円の減額となりました。

平成27年度末の加入率が52.5%（人口をベース）である。広範囲に広報活動を強化して、加入促進に努力が必要です。

国民健康保険特別会計

歳入総額	歳出総額
10億1,193万9,019円	9億4,151万3,975円

保険税の収納率27.7%増

歳入決算額は10億1,193万9,019円で前年度より1億1,111万6,917円の増額、歳出決算額は9億4,151万3,975円で前年度より1億4,018万6,678円の増額となりました。

保険税の収納率は73.1%で前年度を2.7%上回りました。

後期高齢者医療特別会計

歳入総額	歳出総額
8,374万2,446円	7,673万234円

収入未済額が増加、収納に努力を

歳入決算額は8,374万2,446円で、歳出決算額は7,673万234円、歳入歳出差引残額は701万2,212円となりました。

保険料の収入未済額が151万8,600円。前年度より51万6,100円増加しました。

簡易水道事業特別会計

歳入総額	歳出総額
1億9,862万4,836円	1億7,751万1,377円

水道使用料の徴収は前年比105.7%

歳入決算額は1億9,862万4,836円で前年度より2億8,920万9,925円の減額、歳出決算額は1億7,751万1,377円で前年度より2億9,295万719円の減額となりました。

町内簡易水道組合等より水道使用料として徴収したのは4,002万4,038円で、前年度より217万5,582円の増額（前年比105.7%）となりました。

農業集落排水事業特別会計

歳入総額	歳出総額
1億1,074万2,039円	9,551万3,591円

将来を見据え、適切な管理運営を

歳入決算額は1億1,074万2,039円で前年度より1,065万5,695円の減額、歳出決算額は9,551万3,591円で前年度より1,606万2,471円の増額となりました。

介護保険特別会計

歳入総額	歳出総額
4億7,005万6,997円	4億5,163万4,153円

介護保険料の収納率は98.0%

歳入決算額は4億7,005万6,997円で前年度より1,638万6,513円の増額、歳出決算額は4億5,163万4,153円で前年度より1,586万7,496円の増額となりました。

介護保険料として第1号保険者（65歳以上）から徴収する保険料の収納率は昨年より0.9%増の98.0%となりました。

へき地診療所特別会計

歳入総額	歳出総額
8,199万4,600円	7,423万6,887円

受診者657名増加

歳入決算額は8,199万4,600円で前年度より239万7,951円の増額、歳出決算額は7,423万6,887円で前年度より256万9,133円の増額となりました。

平成27年度の受診者は5,729人で前年度より657名増加しました。

浄化槽整備事業特別会計

歳入総額	歳出総額
646万6,142円	471万7,793円

年次計画に従い、事業の進捗を

歳入決算額は646万6,142円、歳出決算額は471万7,793円で、歳入歳出差引残額は174万8,349円となりました。

生活再建支援事業特別会計

歳入総額	歳出総額
3,670万8,116円	1,422万円

生活再建支援事業補助金は適正に処理済

歳入決算額3,670万8,116円、歳出決算額1,422万円で、歳入歳出差引残額は2,248万8,116円となりました。

特別会計とは

一般会計と区分して経理
する必要がある会計です

特別会計は、地方公共団体が特定の事業を行う際に一般の歳入歳出と区分して経理する必要がある場合に条例で設置することができる会計です。

現在、長野原町は特別会計を10会計設置しています。（平成27年度は9会計）

一般・特別会計決算認定において

こんな質問がありました。

「一般会計決算認定」

町営住宅における滞納額の収納方法は

問 浅沼議員 町営住宅の使用料について、監査委員に指摘されているとおり収入未済額が大きい。今後どのように収納していくのか。

答 建設課長 町営住宅の滞納については、昨年から65万円ほど増加している。また、滞納の多い方で140万円ほど。

滞納世帯数15世帯、そのうち11世帯が入居中。現在、定期的な訪問、文書や電話等で支払いの呼びかけを行っており、今後も入居者と相談して返済計画を立てて指導していくことを考えている。

残り4世帯は既に退居しており、そのうち2世帯は分割で納入をしているところ。残りの2世帯は県外に居住しており、督促を定期的に送付している。昨年、今年に関しては職員が居住地に出向いて面会し、わずかが徴収を行っている。今後も滞納が発生しないよう努め、悪質なものについては訴訟も検討した上で民生部局とも連携、協議しつつ指導していきたい。

固定資産税の徴収率を上げる方法

問 黒岩議員 固定資産税の不納欠損額が約1800万円、滞納繰越分の収入未済額が1億円を超えているなどの状況下で、固定資産税の徴収率を上げる方法はどうに考えているか。

答 税務課長 固定資産税の不納欠損については町内41名、町外664名となっている。その中で、不納欠損は各滞納者の調査等を行いながら無くしていくよう努力しているところ。

固定資産税の徴収率を上げるには催告通知や督促など町内外に送付しているが、なかなか徴収率が上がらないのが現状。今後も納税意識を高めるような方法によって徴収率を上げていきたいと考えている。

西吾妻広域消防への負担金について

問 富澤議員 消防費で1億2003万円の負担金があり、これは西吾妻広域消防への負担金だと認識している。当然、世帯数や人口、出動回数等が考慮されていると思う。そこに職員の採用で長野原町から何人の職員が在職し、採用されているのか。また、これが負担比率にふさわしいものなのか。

答 総務課長 負担金の算定については消防基準需要額等の合計

額に消防共同指令センターの協議会費等が含まれる。平成27年度は西部消防署の建設費があり、この金額となっている。また、職員採用については吾妻広域消防施設組合全職員116名のうち長野原町に住所を有する者8名が在職。今年度長野原町から1名の採用があった。



▲町営上湯原住宅（平成28年2月撮影時）

財政健全化および経営健全化の審査報告 まちの財政は「健全」

財政健全化判断比率および資金不足比率が9月6日（火）、定例会初日に報告されました。

財政健全化判断比率は地方公共団体の財政状況を客観的に表し、財政の早期健全化や再生の必要性を判断するものです。また、資金不足比率は事業会計や特別会計の資金不足の大きさを示す指標です。

平成27年度決算においてはいずれの数値も早期健全化基準を下回り、事業会計や特別会計に資金不足はありませんでした。

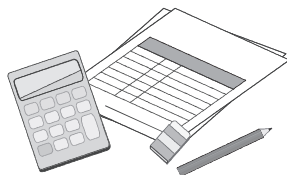
用語解説

【実質赤字比率】
福祉や教育など町の行政事務本体における赤字の程度を示す指標。

【連結実質赤字比率】
町全会計の赤字と黒字を合算し、赤字額が上回る場合にその程度を示す指標。

【実質公債費率】
町の一般会計等が負担する借入金（地方債）の返済額（公債費）に準ずる経費の大きさを示す指標。3カ年平均で算定。

【将来負担比率】
町が翌年度以降に負担することが確定している債務および負担が見込まれる債務の大きさを示す指標。



「介護保険特別会計決算認定」

今後の介護保険料やサービスについて

問 牧山議員 介護保険料の改定があり、平成27年度は約3千万円の増収となっている。町民の負担が増えている中で、国は介護保険の制度を大きく変えようとしている。町として、どのくらいまで保険料がこれより増えていくのか減っていくのかを踏まえ、介護保険のサービスの量的・質的低下が起きることとはあり得るのか。

答 副町長 国では平成30年を目途に医療制度や介護制度の大幅な改革を予定している。これにより、従来の病院経営や介護関係施設の経営が変わろうとしている。

まず第一に医療系の療養施設、医療依存度が低い施設は経営できなくなり、それが介護に押しつけられる。現在、介護系の施設についても要介護度が高くなければ施設介護を受けることができない状況があるが、これは国の医療費の削減、介護の給付削減を狙っているもの。これに対応するため、国は地域包括ケアシステムの構築を進めているところ。町としては西吾妻福祉病院を中心とした医療系の地域包括ケアシステムの構築を検討している。また、町民生活課や保健センターを中心として地域包括ケアシステムの構築へ検討を始めた。その中で、なるべく保険料が上らず、サービスの低下にならない仕組みを考えていく必要がある。



ここが知りたい！

一般質問

質問者	質問内容	ページ
富澤 重男 議員	1. ハッ場ダム関連の施設におけるランニングコース等への対応は 2. 5年後の予算規模シミュレーションを	14
浅沼 克行 議員	浅間山北麓ジオパーク構想の将来像について現在の考えを	15
牧山 明 議員	伝統芸能や文化活動への助成の増額を行うべきでは	16
黒岩 巧 議員	役場各課の連携や情報の共有はできているか	17



9月定例会は4名の議員が登壇
一般質問とは、定例会において、各議員が住民の代表として町の考え方や疑問を正すものです。現在、長野原町議会における一般質問は一人3回までとなっています。9月定例会では4名が登壇し、町政を問いました。質問内容については上記のとおりです。
なお、紙面の都合により、内容を要約して掲載しています。また、質問は原則3回までとなっていますが、文面の配慮等により紙面上での質問数が多くなっている場合がありますのでご了承ください。

皆さんの要望（請願・陳情）は 3件中 2件採択 1件不採択に

各常任委員会で審議が行われました

産業建設常任委員会

羽根尾区公園整備についての陳情など2件を採択

9月6日（火）に開かれた定例会初日に産業建設常任委員会へ2件の陳情が付託され、同日開かれた同委員会にて審査を行いました。

羽根尾区長より提出された「公園にベンチ等の整備についての陳情」については羽根尾町営住宅12号棟前の公園整備をお願いするもので、区長等の意向を確認し、整備を行うこととしました。

また、「国道145号線南側に融雪溝整備についての陳情」は、関係機関へ要望することとしました。

総務文教常任委員会

核兵器禁止関連の意見書等の協力をお願いする陳情を不採択に

9月6日（火）に開かれた定例会初日に総務文教常任委員会へ1件の陳情が付託され、同日開かれた同委員会にて審査を行いました。

提出された「被爆者が核兵器を禁止し廃絶する条約呼びかけた国際署名や、国への意見書などへのご協力のお願い（原文どおり）」については、昨年類似した陳情があり、示された意見書案を削除し国に対し意見書を提出した経緯があり、審議過程で各委員より慎重論が出され、陳情を不採択としました。

要望（請願・陳情）の結果一覧

件名	提出者	結果	備考
被爆者が核兵器を禁止し廃絶する条約呼びかけた国際署名や、国への意見書などへのご協力のお願い（原文どおり）	原水爆禁止群馬県協議会 滝沢 俊治	不採択	
公園にベンチ等の整備についての陳情	羽根尾区長 山口 伸行	採択	
国道145号線南側に融雪溝整備についての陳情	羽根尾区長 山口 伸行	採択	関係機関へ要望



浅沼 克行 議員

浅間山北麓ジオパーク構想の 将来像について現在の考えを



▲日本ジオパーク認定審査の様子

問 9月9日（金）に日本ジオパーク認定となったが、今回の結果の是非に係わらず「浅間山」の資源を新たに見つめ、活用していく事は重要なことではないか。

我々が毎日当たり前に見ていた風景や歴史等を改めて知ることによる感動を町民一人一人に伝えることも重要であり、その輪を広げていくことが

答

将来的には長野県側4市町村とも連携し、世界ジオパーク認定に向けた活動を推進したい。

自然とこの構想を大きくしていくものだと考える。改めて「浅間山北麓ジオパーク構想」の将来像について町長の考えを伺いたい。

答

これから4年ごとの再審査もあるので今後浅間山を正しく知り、魅力を感じていただくような発展させていく必要がある。

そのためには地域の皆さまにこの活動を理解していただく必要があり、住民向けのジオ講座やジオツアーの開催、特産品の開発などに取り組んで行きたい。

また、このような活動を通じて、地域の皆さまが点在する景観的、学術

問

今後ジオパーク関連の経費がかかるかと予想される中、ピジョーセンターとして運営する浅間園は入館料100円を徴収している。これは町の支出に対してどのくらいのプラスになるのか。

また、未だ町民の関心が低い。認定に伴い更なる啓発活動をお願いしたい。

答

どのように健全経営ができるか真剣に考えていきたい。ジオパーク認定をきっかけに地元愛の向上や観光客の増加という連鎖を期待している。

次代を担う子どもたちが大きなポイントだと思う。これからも小中学生や高校生に目を向けていただく、地元を愛していただく活動を行ってきたい。



富澤 重男 議員

①ハツ場ダム関連の施設における ランニングコスト等への対応は ②5年後の予算規模シュミレーションを

答

①今後整備される施設については適正な維持管理方法に見合う協定書の締結を進める。維持管理等の取り決めが必要な場合は協定書締結に向け協議。②算出が難しいが、財政計画に向け準備を進める。

問 「一般質問①」ハツ場ダムは平成31年度の完成に向け、コンクリート打設が始まり、様々な施設の建設が同時に進行していると思う。

それら施設は国や県の所有権で町が利用付託を受けるものなど管理運用の方法も様々だと認識している。この施設の保守や維持管理、改装改築などかかるランニングコストについてどのように考えているか伺いたい。

また、権利関係の委譲については覚書や協定書など明確に記載しておく必要があるのではないかと考えるがどのように考えているか。

答

ダム完成に伴って併せ水没関係5地区ではダム事業、水特事業、基金事業による生活関連事業が計画され、一部完成した施設などもある。

例えば、林地区の地域振興施設としてオープンした道の駅ハツ場ふるさと館などについては既に協定書を締結し、管理や運営をお願いしているところ。

今後整備される施設の計画・建設にあたっては専門的なコンサルタント等も入り、地元関係者や財政担当とも協議を重ね、議会でも報告し、適正な維持管理方法に見合う協定書等の締結を進めていきたい。

問

「一般質問②」第5次総合計画が進行中であるが、人口減少や高齢化、ダム事業の終了など多くの問題がある中、将来の町の予算に対して町民の多くが懸念していると思う。その不安を払拭するため、5年後の予算規模をシュミレーションし町民に示してほしい。

答

長野原町では平成28年度より第5次総合計画に基づき事業を行っている。

その中には人口減少をできる限り抑制する施策等も多く盛り込まれており、着実に実現することで税収など経常的収入の確保に努めたい。また、少子高齢化が進む中、経常的支出を抑えることは難しい問題と捉えているが、努力していきたいと考えている。

当然、議員各位を含め町民皆さまに将来の財政計画等を示す必要があると思っている。しかし、現在調整中のダム関連事業も多く残っているなど、現段階では算定することが困難であるため、もう少し時間を頂きたい。

ここが知りたい！
一般質問



黒岩 巧 議員

役場各課の連携や 情報の共有はできているか



▲町内LANを利用したシステム

問

行政は「縦割り」の組織だとよく言われる。縦割りの行政の弊害の例として、不合理な役割分担や各課の過剰な管轄意識により行政サービスが非効率적인になることが挙げられます。長野原町においては各課に縄張り意識のようなものはあるだろうか。また、各課の連携や情報の共有はできているのか伺いたい。

答

プロジェクトチームの立ち上げによる連携、庁内LAN等による情報の共有を行っている。

共有はできているのか伺いたい。

答

現在、役場には9課1局1室があり、更に課内室が2室あり、それぞれの業務分担任については長野原町事務組織規則で定められている。

しかし、近年の行政課題や事務事業、住民ニーズ等が多様化する中、条例や規則どおりの事務分担任では効率的により良い成果を出すことが困難な場合も多くなっている。

そのため、観光PRプレゼン制作やイベント運営などに各課から職員を募りプロジェクトチームを立ち上げることで一定の

問

例えば前回東京で原町への移住相談を行う際、相談に訪れる方は「仕事はどんなことがあるのか」「病院は近くにないのか」など各課にわたる情報が欲しいと思

答

100数名の少数で、精鋭組織において、各課の仕事における縄張り意識はあり得ないものだと思う。上手くできる部分や、数が少なくて連携ができないという部分があるが、常に連携を深めていくことが成功につながるものと考えている。

今でも「オール長野原」の精神でいる。ご指導いただきながらしっかりとやっていきたいと考えている。

ここが知りたい！
一般質問



牧山 明 議員

伝統芸能や文化活動への 助成の増額を行うべきでは

問

町民がふるさとの誇りと感じられる神楽や獅子舞など、人口減少が見られる中、保存会の方々が中心となり伝統を守っている。これらの活動が子々孫々まで発展的に伝えていけるよう町が助成を増やすべきだと思うがどうか。

また、町が推進する生涯学習の観点から、高齢化率が高まっている現在、文化部の活動が果たしている役割は大きい。これについても文化部に対して助成を増やすべきだと思うが町長の考えを伺いたい。

答

現状では、伝統芸能を維持継続している町内の団体は獅子舞

答

文化協会各部の活動状況を把握し、補助金の増額も検討していく。

で2団体（長野原文化会・羽根尾獅子舞保存会）、神楽で3団体（川原湯神社太々神楽連中・林神楽保存会・与喜屋神楽保存会）の計5団体を把握しており、各々の団体に対して年間2万4千円の助成をしている。

また、町内文化部の助成としては町文化協会へ年間80万円の補助金を支出している。文化協会では、そのうち50万円を25団体へ助成している。

各団体とも高齢化等による会員の減少など、課題を抱えている。町としても移住定住施策などにより、若者世代の人口増を図り、伝統文化を維持継続する人を増やすことにつなげていきたいと考

問

文化協会の助成と体育協会の助成を比較すると大きな差が見られる。一部の活動状況や所属人数により一概に言えないが、単純に見てももう少し体育協会に近いところまで増やすべきではないか。

また、現実に神楽や獅

答

一律増やす考えはないが、どのくらいお金がかかり、不足をしているのか調査をした上で検討していきたい。周知等については現在お答えできないが、今後小中学生や高校生、町民皆さまにもみていただく機会を作っていきたいと考えている。



▲与喜屋養蚕神社で奉納される神楽

- 平石 さん（生徒会長）
「長野原高校生が町の活性化のためにできることは」
- 中村 さん（生徒会副会長）
「北軽井沢と長野原草津口間の往復バスが少ないので増やして欲しい」
- 佐藤 さん（生徒会書記）
「熊がでたときの対策は」
- 片山 さん（生徒会会計）
「役場前の白線が消えかけているので直して欲しい」
- 山崎 さん（生徒会会計）
「ゴミ捨て場のゴミが散乱していることがある、対策を考えているか」
- 桑原 さん（生徒会会計監査）
「高校付近の電灯が少ない、数は増やせないか」
- 島田 さん（生徒会会計監査）
「道路沿いに雑草が目立つが、対策はあるか」
- 大野 さん（2-2組委員長）
「草津行きのバスの時間が合わないの、増便できないか」
- 下谷 さん（1-1組委員長）
「議員・町長になるきっかけや努力を教えてください」
- ※懇談会では上記の質問に対し、町議会議員および町特別職がそれぞれ回答しました。

ことはありますか。

答 浅井議員 北軽井沢観光協会の取り組みを例として、炎のまつりや北軽井沢マラソンなどを行っている。

なかなか急に成果や何かを得るものではないかと思うが、継続することが大事だと思う。

問 黒岩 さん（生徒会書記） 議員の1日の仕事はどんなことがあり、大変なところはありますか。

答 浅沼議員 議員は常勤の仕事ではなく、年間の定例会や臨時議会は勿論、町や地域の行事などに出席するなどが主な活動内容。

また、町や地域のことを理解し、地域の声を聞いて町に届ける。また、その逆の流れのことも行う橋渡し役でもある。このようなことを年間通して行っている。

※紙面の都合上、要約・省略をしております。

懇談会の感想



長野原高等学校
生徒会長
平石 さん

今回は、町議会の見学に行かせてもらい、大変勉強になりました。

議会を見学させていただけでなく経験は、なかなか出来ることではなくて、政治などについてあまり興味のない私たちの年代からすると、政治に興味を持つ良い機会になります。難しい内容ではあったけれど、話し合いを通して色々なことをしてもらえから町や県などはとても良くなっている、不自由なく生活していけるのだと思います。それはとても感謝すべきことであるし、その

事実を知ることが出来て良かったです。

しかし、誰が議員になるのかによっては町や県がどのように変わっていくかは変わってしまうので、自分がこの人が良いという人に、自らが投票することが大切になってくると思います。そのためには、選挙権が与えられる前から政治について知っておくことが大切だと思うので、また今回のような経験をさせていただけたいと思います。

活動報告 長野原町議会 × 長野原高校 懇談会

選挙や政治への 関心向上へ一役



▲長野原町議会議員ならびに特別職と長野原高等学校生徒による懇談会の様子

議員と長野原高校生による懇談会

長野原高等学校における主権者教育の一環として長野原町議会ならびに町特別職と同高校による懇談会が9月21日（水）定例会後、長野原町役場大会議室にて行われました。

同高校からは生徒会および1・2年生代表の皆さん11名が参加されました。議会や町行政に関する疑問・質問など積極的な発言があり、終始リラックスした雰囲気です。懇談会が行われました。

懇談会の最後に平石生徒会長は「選挙権が18歳となったが、私たちは選

参加して下さった 長野原高校の皆さんありがとうございました



（上段左より）小淵先生、塩谷先生、生形校長先生、以右省略
（下段左より）大野さん、片山さん、島田さん、佐藤さん、樽井さん、平石さん、萩原町長、中村さん、黒岩さん、桑原さん、山崎さん、下谷さん

懇談会での質疑応答を一部紹介

問 樽井 さん（生徒会副会長） 町おこしのために具体的な何をしています、何か得た

議会だより・議会会議録を

長野原町ホームページで公開中です！

定例会ごとに発行される「ながのはらまち議会だより」や議会の内容がわかる会議録を長野原町ホームページで公開しています。

議会だよりは第104号(平成27年7月発行分)から、会議録は平成27年5月臨時会分から掲載しています。

※会議録は完成次第更新になりますので、ご了承ください。



トップページ下段のアイコンからお進みください。

次回定例会のお知らせ

議会を傍聴しませんか？

議会の様子はどなたでも傍聴することができま

す。傍聴を希望される方は、議会開催日に直接議場(長野原町役場2階)までお越しください。難しい手続きはなく、料金や予約も不要です。受付簿に氏名など必須事項を記入の上、傍聴してください。会議中の入退室も自由です。

【次回の定例会予定】

開会時間は日によって異なります。傍聴を希望される際は長野原町議会事務局までお問い合わせください。

- ・12月1日(木)
- ・12月8日(木)
- ・12月15日(木)

開催予定

▼詳しくは長野原町議会事務局(☎0279・82・3019)までお問い合わせください。

編集後記

富山市議会、富山県議会議員の政務調査費不正取得が問題になっていきます。町村議会議員より遙かに高額な報酬を取りながらどういう事なのでしょう。長野原町議会には政務調査費は無く、議員が個人的に調査をする場合、経費は自己負担です。

11月24日から25日と町の予算を使用して全議員で福島県の磐梯山ジオパークと磐梯町の若者定住・人材育成事業施策を視察させていただきます。年に一度の行政視察なので本来の目的をしっかりと踏まえて視察したいと思っています。

広報委員

委員長 浅沼 克行
委員 牧山 明
浅井 進
富澤 重男